

## 令和7年度第2回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和7年11月18日(火) 午前10時00分～10時55分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(7名)	菊池委員、菅原委員、和栗委員、相澤委員、齋藤委員、東門田委員、鈴木委員
○欠席者(3名)	伊藤委員、本郷委員、久米委員
○事務局出席者	鈴木教育長 山家教育部長 生涯学習課 佐々木課長 熊谷課長補佐兼係長 柳館主幹兼公民館係長 加藤図書館長
○傍聴人	なし

### 会 議 概 要

1 開 会 進行：熊谷課長補佐兼係長

2 あいさつ

#### 鈴木教育長

10月1日付で教育長に就任した。前は増田小学校の校長をしていたが、それ以前に、教育委員会に通算で4年間勤務した。まず閉上小中の立ち上げのときに学校教育課におり、その後、間を空けてコロナ対応のときには学校教育課長を務めていた。

ここは増田小学校の通学路になっており、車で入ってくると「校長先生おはようございます」と子供たちが普通に言うので、ちょっとほっとする瞬間を味わっているところである。

さて学校では、今インフルエンザとクマの対応で注意喚起を行っているところであるが、インフルエンザについては、10月下旬から欠席者が大変増加しており、先週が非常に多く、市内8校、学年閉鎖・学級閉鎖を行った。10月から数えると70学級ぐらい入れ替わりで学級閉鎖等を行っているところである。今週はやや先週より落ち着いてきたような感じではあるが、まだまだ油断のできない状況である。

クマについては、情報をできるだけ早く共有して複数で帰ったり、学校の立地条件に応じてクマ撃退スプレーを配備したり、また、教員による車での巡視など、状況に応じて対応しているところである。市の方でも、クマの対策会議を行っている。市全体で、または学校でというふうにクマへの対応をしていきたいと考えている。

そんな中、就任以来、土日は各地の公民館まつりに顔出すルーティーンになっており、その中で思うことが、デジタル化が進む中でやっぱり人と直接交流したり、文化芸術に触れたりすることが大事であることを改めて感じたところである。

今日は資料にある通り、生涯学習課が所管するもののうち、社会教育分野における報告が主

## 令和7年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和7年11月18日(火)

になっているため、委員の皆様から忌憚のないご助言をよろしくお願ひしたい。

### 鈴木議長

教育長の話にもあったように、クマの問題は大変であると感じている。今度行われる全国から集まるクイーンズ駅伝が仙台で行われるが、クマがコースの近くに現れたら、中止も考えているとのこと。自然環境という、何ともならないところのもどかしさを感じ、学校現場でも社会教育のところでもいろいろな活動に影響が出ているのではと思ったところである。

また、デジタル化の話もあったが、今、子供たちや大人も、生成AIやチャットGPTを使っており、10代20代では、もう50~60%以上使っているということを知り、便利とはいえ大変な時代になったと私も感じていた。実際にリアルな体験はこれからますます必要になり、社会教育の場はどんどん重要になってくると思っている。

今日の会議では、それぞれの立場で社会教育の振興に力を尽くされている委員の皆様から、さらに、名取市の地域の力を活かす社会教育の方向性について、幅広い視点から活発なご意見を願ひしたい。

### 会議成立の確認

名取市社会教育委員会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

### 会議公開の確認

名取市審議会等の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

### 資料差し替えの連絡

資料1 4ページの公民館系の資料について差し替えを連絡。

## 3 前回会議の報告

前回会議録をすでに送付し確認済みであるため、報告に代えることを告げた。

## 4 議 事

名取市社会教育委員会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議事進行

### (1) 報告事項

#### 令和7年度上半期事業報告について

資料1により各担当から説明。

＜説明員＞	生涯学習・青少年係	熊谷課長補佐兼係長
	公民館係	柳館主幹兼公民館係長
	図書館	加藤館長

**鈴木議長**

まず、生涯学習・青少年係からの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

相澤委員はPTAの方でご活動されているなかで、子ども会の減少という報告もあったが、どう感じるか？

**相澤委員**

先日、館腰小学校区の私が住んでいる飯野坂地区において、育成会の芋掘りをした。子ども会に入っている方が少なくなってきた現状のほか、当日、日曜日であったため、少年野球とかサッカーをしている方は参加できなかった。子供の数は少なかったが、大人がみんなで見守り、育成会の方が作った焼き芋を食べるといった活動であった。食べ終わった後は、町内のごみ拾い等をしながら、散策を実施したところである。夏祭りは実施できなかったが、育成会が主体となった活動を行い、とてもいい地域だなと思っている。

他の地区ではやっていないところもあるので、寂しい面もあり、仕方ないと思うところもある。地域の人と小中学生が関わることがやっぱり大事だと認識している。

**鈴木議長**

東門田委員、尚絅学院大学との高等教育機関と連携した生涯学習というところで、今年度は「ウェルビーイング」とか、「運動と健康」、「こころとからだ」などタイムリーなところを提供いただいているが、市から委託されている現状について、大学としては、率直にどう思っているのか。

**東門田委員**

率直にありがたいと思っている。

やっぱり地域の皆様と一緒に学べるというのが大学としての喜びであり、本当にありがたい機会をいただいている。来年度もぜひお願いしたいと思っている。

今回、プラザの移転により、会場がイオンモール名取から大学に移ってしまった関係で、大学が遠いので来られない、来にくいという理由により参加者が減少した。来年度も依頼された場合、大学でやるのかイオンモール名取をお借りしてやるのか、検討していきたい。

今、SDGs からウェルビーイングへということで、大変な社会状況となっているなか、やっぱり幸福は大切なんだという、国連自体もそちらの方の流れになってきているため、そこを主題に掲げていくとやっぱり最終的には「からだ」と、そして「こころ」なんだなと感じている。特に先ほどコミュニケーションが求められているという話を教育長がされていたが、やっぱりコミュニケーションに悩まれている方が社会人でもすごく多く、そういったものをできるだけ取り入れていきたいと思っている。

**鈴木議長**

名取市にはどこかよさそうな場所があるか。何かあれば検討していただければと思う。

**事務局(佐々木課長)**

今回、場所が変わったことにより行ける方が限られてしまったという現状はあった。オンデマンド視聴も行ったが、実際にはなかなかまだそこまで行き着いていないのが現状である。

会場等については、市の施設であれば、減免という形をとれるため、来年度実施する場合は相談しながらしていきたい。

**鈴木議長**

ぜひ検討いただきたい。次に、齋藤委員はいかがか。

### 齋藤委員

今の大学等の生涯学習機会の提供のところで、オンデマンド視聴のハイブリッド型の実施で、期間を決めて YouTube 配信になっており、後から視聴できるようになっていたとのことだが、この視聴回数が43回とか29回で、視聴回数が少なかったと思う。以前 PTA の方で保護者向けの研修会でやったときは、視聴数が多かった。もしかすると、中学校小学校の保護者がウェルビーイングとか、こころとからだの健康とか人間関係みたいところで、興味を示すようなところがあるかもしれない。学校では保護者への情報提供の配信があるため、協力をもらえると視聴回数が増えてくるのではないかと。ぜひ良い形で配信していただきたい。

### 鈴木議長

次に、公民館係からの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

和栗委員は地域で活動されている点からいかがか。

### 和栗委員

公民館を利用していると、館長が地域の苦情等を全部引き受けている。なかには大したことはない、受け流していいものもある。行事でもこれまでの流れから新しい形に変更すると意見が出てくる。精神的に大変じゃないかと心配している。心のケアが大切じゃないかと。団体は団体の自主性に任せる体制となり、昔は公民館が色々な団体を持っていたが今は離れている。そうすると地域の活動が衰退していく。そのジレンマみたいなものもある。

そのほかの感想として、窓口が暗く、入りづらい公民館があると感じている。

### 事務局(佐々木課長)

地域の中でそのように、公民館長或いは公民館のことを思っただき、感謝申し上げる。

公民館については、いろいろと運営協力委員会の方などを中心に、ご意見をもらいながら、様々な事業、教室講座などを運営している。

ダイレクトに市民の方の声が届くため、中には少し心を揺さぶるような意見等もあるとは思いますが、11人の館長はしっかりやってくれており、いつも感謝している。年に数回ではあるが、館長及び館長以外の職員とも面談、ヒアリングをし、意思疎通を図っている。

地域によって今までの行事の流れを転換したところもあれば、できないところもある。基本的には地域の方の総意ということをうまく館長を中心に公民館で取りまとめ、事業を展開していると思っている。今後とも、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

### 鈴木議長

次に、図書館からの説明について、ご質問、ご意見等いかがか。

菅原委員、宮農では推し本 POP づくり講座に参加したということだが、いかがか。

### 菅原委員

本校の図書館に図書委員だけではなく未来屋書店の講師の方、名取市図書館の方にもお集まりいただき、大盛況で所狭しという印象だった。メディアの方も数社入り、テレビでも取り上げられ、生徒たちの作った POP を大きく映していただいたり、生徒も大満足なイベントであった。私も参加したが、この生徒がこんなに熱く語るんだという意外な面を発見し、大変素晴らしいイベントであった。

その後、未来屋書店で生徒の POP を展示いただき、その生徒たちが推した本、おすすめの本を店頭並べお客様にお売りするという企画もあった。そちらの方は、本校の保護者も興味を持ち、

## 令和7年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和7年11月18日(火)

会場に足を運んだとのことだった。その様子は本校のホームページと学校だより、両方に取り上げ、各方面にお知らせしたところである。今後も機会があればぜひよろしくお願いしたい。

### 鈴木議長

すばらしいコラボであった。

増田中でもLet's理科読とか、生徒がスタッフとして参加したようだがいかがか

### 菊池委員

Let's理科読に関しては去年も参加させてもらった。今年も4月から話し合いを重ね、参加したところである。

さらに今年は増田地区レクリエーション大会にも参加させていただいた。中学校の部活動が忙しく、地域のことがあまりできないという話があった中で、地域の皆様と一緒にボランティアをしたり、自分で参加できるものを考えるようにと話をしていたところ、生徒から部活で地域活動に参加したいという話が出て、若い教員や教頭も一緒にレクリエーション大会に参加した。みんなですべて楽しかったという話が、生徒たちからあり、やっぱり地域の皆様にこういう機会を与えていただいているのは、中学生にとってとてもいいことだなと感じた。

### 鈴木議長

地域での活動や図書館事業で生徒たちが活動する機会を今後とも持っていただきたい。

他にいかがか。他にご意見がなければ報告事項、令和7年度上半期事業報告については、原案の通り承認してよろしいか。

異議がないようなので、原案のとおり承認ということで決定する。

続いて(2)その他について、事務局から説明をお願いしたい。

## (2) その他

事務局熊谷よりお知らせ

1点目、二十歳を祝う会の日程について

2点目、次回の社会教育委員の会議の時期について

### 鈴木議長

他になければ議事終了ということで議長を降りたい。円滑な運営に感謝する。

### 熊谷課長補佐兼係長

最後に、議長代理である齋藤委員より閉会の挨拶をいただきたい。

### 齋藤委員

上半期の事業報告により、名取市の取組について充実を図られていると感じた。今後も子供たちそして地域のために、活動を推進していただきたい。

### 熊谷課長補佐兼係長

以上をもって、令和7年度第2回名取市社会教育委員の会議の一切を終了する。

## 5 閉 会

10:55 終了

以上